

## 拝観料金

	個人	団体 (30名以上)	団体 (100名以上)
大人 <small>(大学・各種校 高校含む)</small>	700円	650円	600円
小人 <small>(中学校・小学校)</small>	400円	350円	300円

※修学旅行に限り30名未満でも団体料金扱い(先生も同額)となります。  
但し、窓口での一括精算の場合のみとさせていただきます。

## 障がい者割引 手帳提示の場合のみ

大人 300円 小人 100円

- お支払いは現金のみとなります。(クーポンは対応しておりません)
- 手帳所持者本人及び介護者1名も割引となります。
- 施設団体につきましては、事前に減免の申請をお願い致します。
- 車いすでの拝観可能な場所は宝物館のみとなります。
- 境内に多目的トイレがあります。

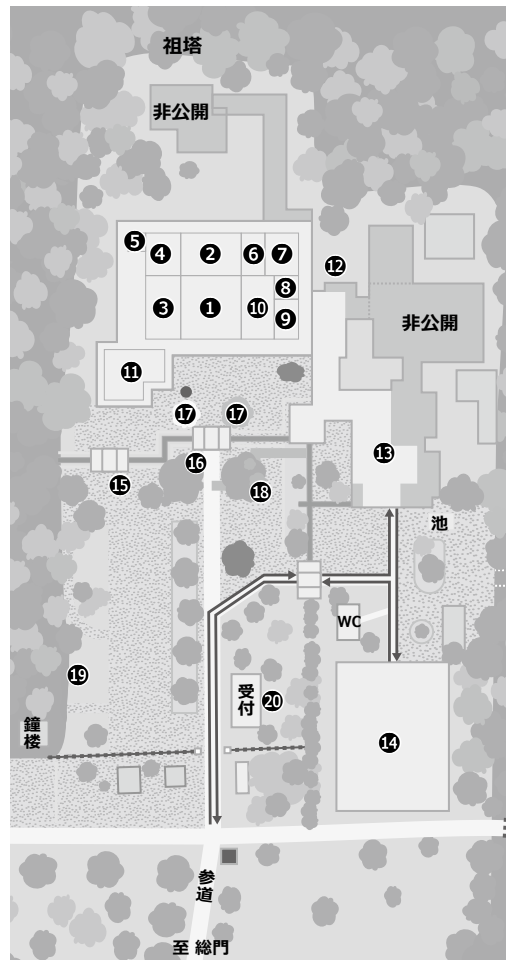
## 拝観時間 最終受付は閉門時間の30分前です

月	開門時間	閉門時間
4月～9月	午前 8時30分	午後 5時
10月・3月		午後 4時30分
11月・2月		午後 4時
12月・1月		午後 3時30分

## クーポン取扱業者

JTB	knt (近ツー)	クラブツーリズム
日本旅行	JR各社	東武トップツアーズ
農協観光	名鉄観光	T-LIFE (タピックス)
読売旅行	宮城交通	福島交通観光
全旅		

※案内ガイドは、松観(松島観光ガイド)にお問い合わせください。  
TEL : 022-354-3218



## 瑞巖寺 境内案内

### 本堂

- ① 室中(孔雀の間)
- ② 仏間
- ③ 文王の間
- ④ 上段の間
- ⑤ 上々段の間
- ⑥ 羅漢の間
- ⑦ 墨絵の間
- ⑧ 菊の間
- ⑨ 松の間
- ⑩ 鷹の間
- ⑪ 御成玄関
- ⑫ 中庭
- ⑬ 庫裡及び廊下
- ⑭ 宝物館(青龍殿)
- ⑮ 御成門
- ⑯ 中門
- ⑰ 臥龍梅(紅白梅)  
(3月末～4月初)
- ⑱ 石斛  
(花期5月末～6月初)
- ⑲ 法身窟
- ⑳ 受付・御朱印所

## 年中行事

※毎月8日・24日・26日は開山和尚、藩祖公、先住職の月忌を執り行なっております。

1月1日	しゆしょうえ 修正会	8月20日	ごだいどうれいさい 五大堂例祭
3日	ねはんえ 涅槃会	9月8日	かいさんき 開山忌
2月15日	ごうたんえ ごうたんえ	10月5日	だるまき 達磨忌
4月8日	ごうたんえ 降誕会	12月8日	じょうどうえ 成道会
6月24日	はんそき 藩祖忌	12月31日	じやのかね 除夜の鐘
8月16日	おせがきえ 大施餓鬼会		

## 写経会

【個人対象】

## 毎週月曜日

(午前10:00～11:00 午後2:00～3:00)

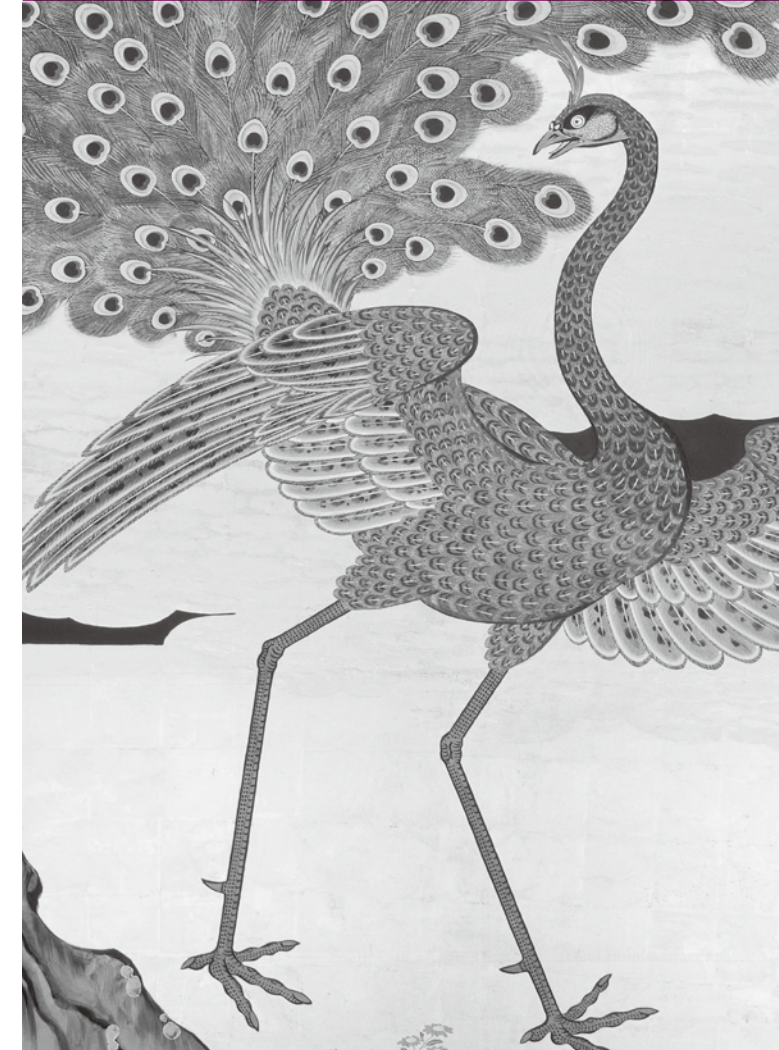
※寺行事の都合により休みになる場合があります。  
ホームページ等にてご確認ください。



臨濟宗妙心寺派

青龍山

瑞巖寺



〒981-0213 宮城県宮城郡松島町松島字町内91番地  
TEL (022) 354-2023  
FAX (022) 354-5145  
ホームページ [www.zuiganji.or.jp/](http://www.zuiganji.or.jp/)





## 瑞巖寺の沿革

瑞巖寺は正式名称を「松島青龍山瑞巖円福禪寺」とい  
い、臨済宗妙心寺派に属する禅宗寺院です。

9世紀初頭、慈覚大師円仁によって開創された天台宗  
延福寺がその前身であると伝わっています。13世紀中頃、  
鎌倉幕府執権・北条時頼公が法身性西禅師を開山として  
臨済宗建長寺派への改宗を行い、寺名も円福寺と改めま  
した。しかし、戦国時代を経て次第に衰退し、16世紀末に  
は臨済宗妙心寺派に属します。

慶長9年(1604)、仙台藩祖・伊達政宗公は円福寺の復  
興を開始し、慶長13年(1608)には寺名を「松島青龍山瑞  
巖円福禪寺」と改めました。翌慶長14年(1609)、5年の  
歳月を経て工事が完了し、元和6年(1620)から元和8年  
(1622)にかけては障壁画の制作が行われています。

伊達家の菩提寺として領内一の格式を誇った瑞巖寺で  
すが、明治維新後は廃仏毀釈運動の影響により、荒廃の  
憂き目を見ることとなります。そのような状況の中、明治  
9年(1876)、明治天皇東北巡幸に際し瑞巖寺が行在所と  
なり、内帑金が下賜されて復興の契機となりました。

平成30年(2018)には10年に及んだ「平成の大修理」  
が完了し、政宗公が心血を注いで完成させた創建当初の  
姿が現在に甦りました。

## 国宝 瑞巖寺本堂 ずいがんじほんどう ◆昭和28年国宝指定

瑞巖寺本堂は南東に面し、南西端に御成玄関が、南東端に庫裡(庫裏)  
に続く廊下が接続する。大きき正面38m、奥行24m。入母屋造の本瓦葺き  
で10の部屋がある。慶長14(1609)年完成。松・杉・檜は熊野から運ば  
れ、京都・根来の大工衆が技を競った。堂内の各室は、使用目的にふさわ  
しいテーマに沿って描かれた絵画や彫刻で装飾されている。



## 国宝 庫裡(庫裏) くり ◆昭和34年国宝指定

禅宗寺院の台所。正面13.8m、奥行23.6m。大屋根の上に入母屋造の  
煙出しをのせる。妻飾りの唐草や木組みの随所に彫刻が施され、  
白壁と木組みのコントラストが美しい。



## 室中 (孔雀の間) しっちゅう (くじやくのみ)

法要が営まれる、本堂の中心となる部屋。襖絵は狩野左京筆「松孔雀  
図」。正面の「雲に飛天」の彫刻とともに、この部屋が世俗的な時間を  
超越した此世の浄土である事を表現している。



## 宝物館 (青龍殿) ほうもつかん (せいりゅうでん)

国指定重要文化財の本堂障  
壁画、伊達家歴代藩主画像・  
書跡・茶碗、歴代住職画像、  
墨跡、瑞巖寺の前身・中世円  
福寺に関する発掘出土品、日  
本三景松島に関する絵画や書  
跡等を所蔵。

館内は地階が常設展・企画  
展の展示室で、季節やテーマ  
により展示を行なっている。



## 主な収蔵品

### 国指定重要文化財

- ◎本堂障壁画(江戸時代・1622)
- ◎五大明王像(平安時代・10世紀)
- ◎雲版(鎌倉時代・1326)

### 宮城県指定文化財

- 法身・蘭溪・明極像(室町時代)
- 仏涅槃図・釈迦說法図(室町時代)
- 大鐘(江戸時代・1608)
- 大脇差 富田大和守安定作(江戸時代・1655)

歴代藩主画像(江戸時代)  
初代政宗~12代斉邦  
歴代住職画像、能面、  
水晶製五輪仏舎利塔・舎利(北条政子寄進)  
他多数あり

### 伊達政宗甲冑倚像(江戸時代・1652)

[宮城県指定文化財]

政宗公17回忌にあたり、2代藩主忠宗公・政宗公  
正室陽徳院愛姫の発願で制作された、ほぼ等身大の  
木像。陽徳院の記憶に残る夫君の姿を絵師に描か  
せ、それをもとに京都の仏工に制作させた。政宗公の  
遺言により幼少時に失明した右目が開いている。

収蔵品の公開時期は展示替えによって変わります。  
ご了承ください。